

2014年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科						
科目名	日本語表現法基礎 I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	藤本 晃嗣						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特性を正しく理解できる。 ・敬語を理解し、正しく使い分けができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・原稿用紙、符号などの使い方の基礎を学習し、正確な表現ができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を修得する。 						
日程と内容	4/10 第1回：講義概要 4/17 第2回：教科書「はじめに」1回目 4/24 第3回：教科書「はじめに」2回目 5/1 第4回：敬語1 1回目 5/8 第5回：敬語1 2回目 5/15 第6回：敬語2 1回目 5/22 第7回：敬語2 2回目 5/29 第8回：敬語3 1回目 6/5 第9回：敬語3 2回目 6/12 第10回：文法1 1回目 6/19 第11回：文法1 2回目 6/26 第12回：文法2 7/3 第13回：文法3 1回目 7/10 第14回：文法3 2回目 7/17 第15回：定期試験 7/24 第16回：まとめ・復習						
成績評価基準	臨時試験		50%	実技			
	報告書・レポート			部外評価			
	課題			プレゼンテーション			
	演習		50%	計		100%	
授業到達目標の達成度	<p>大学生生活、そして社会人としての生活の上で必要となる、基本的な敬語、文法についてほとんどの学生が理解し習得することができたと思われれます。特に、使い方を誤りやすい敬語や「ら抜き言葉」、「さ抜き言葉」など文法上間違えやすい点について、その理由と正確な表現を理解することができたと考えています。</p>						
反省点	<p>学生の多くが集中力、理解力ともに高いので、やや講義内容がやさしすぎたかもしれません。</p>						
来年度の計画	<p>テキストの内容に加え、応用力のつく課題をあたえ、より高いレベルの講義をしていきたいと思ひます。</p>						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>学力の高い学生がやや退屈を感じることもあったのか「無駄な時間がある」という意見もありましたので、作業の時間をうまく調整してできるだけ多くの学生にとって実りある講義にしていきたいと思ひます。また板書をもう少し整理するようにしたいと思ひます。</p>						
履修登録者数	66名	定期試験 受験者数	66名	合格者数	66名	合格率	100%